

北海学園大学人文学部プロデュース「人文学の挑戦」は、
本学部教員の研究成果を広く社会に還元するイベントです。どうぞお気軽にご参加ください。



—— 葵の上に取り憑く六条御息所 ——

源氏物語の生霊

第9回 人文学の挑戦

あれは葵の上だったのか、
六条御息所だったのか、
はたまた源氏が見た
幻覚だったのか——

源氏物語の葵巻、六条御息所の
生霊が葵の上に取り憑く場面を
読んでいきます。

講師

井野 葉子
(いの・ようこ)

北海学園大学教授



概要

危篤状態の葵の上の枕元に源氏が近くと、白い御衣に長くたっぷりとした黒い髪を添えて、懐妊中とてお腹を高々として臥した葵の上の美しいこと。源氏をじっと見つめてぼろぼろと涙をこぼす葵の上に対して、源氏は愛しさを感じずにはいられません。と、その時、葵の上が豹変して「こんなふうにやってくるとは思いませんでした。物を思う人の魂は体からさ迷い出るものだったのですね」と言うではありませんか。それはまさしく六条御息所その人の声と気配だったのです。——源氏物語の葵巻、葵の上に取り憑いた六条御息所の生霊を源氏が見てしまう場面です。詳しく解説しながら原文を読んでいきます。

2016年4月16日[土] 15:00-16:30

紀伊國屋書店札幌本店 sapporo55ビル 1F
インナーガーデン

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 ☎ 011-231-2131

参加無料

予約不要